

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の話し合い、週1回、月1回のミーティングを行なっている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			夕礼で児童の様子を記録している
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在利用していないが、ある程度は整えている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			公園などで多少の関わりはある
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		確認できた時は参加しているが、毎回参加はできていない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			手紙を出している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			避難訓練を年2回実施している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

職員による自己評価

A環境面

- ・児童発達と放課後デイ用のスペースを分けて支援できている
- ・運動プログラムも問題なく実施できる広さが確保できている
- ・近隣の公園を活用して運動量を確保している

B児童への支援内容

- ・児童発達支援は運動プログラムや手指プログラムをメインとして、個々のレベルに合わせた計画を立てて実施している
- ・放課後デイでは、平日はお金の計算や運動プログラム、手指プログラムなどを計画して実施している
- ・楽しんで経験を積めるような行事を多く企画している

C関係機関との連携

- ・ケース会議などは必要に応じて参加している
- ・送迎時などには学校とも情報共有を行なっている

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・連絡帳を日々活用して報告している。
- ・月間通信を配布している。
- ・毎日 SNS で活動報告を行なっている。
- ・定期的に写真配布を行なっている

E非常対応

- ・年2回実施して、連絡帳や通信で親御さんへも実施状況をお伝えしている。

保護者による評価

A環境面

- ・身体を動かせる広さの大きさがある

B児童への支援内容

- ・色々工夫して企画されている
- ・休日の外出が多くなり嬉しい

C事業所からの情報発信

- ・毎月の会報などがあるとありがたい
- ・SNS での発信があってわかりやすい

D非常対応

- ・見ていないだけかもしれないがわからない

事業所内での分析

【共通点】

- ・日々のプログラムやレクリエーション、行事の豊富さ
- ・SNS での配信で活動を確認いただけている
- ・定期的な写真配布で活動の様子をお伝えしている

【相違点】

- ・非常災害マニュアルの周知と避難訓練の実施
- ・月間通信の配布

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・日々子供達を楽しみながら経験を増やせるようなレクリエーションや行事を実施している。
- ・個々に応じた課題からの支援を計画して支援している。
- ・毎日 SNS での活動報告
- ・手指プログラムやお金の計算などの実施

事業所の改善点

- ・家族会や家族参加行事の実施
- ・緊急時の対応マニュアル配布
- ・避難訓練の実施報告

事業所の改善への取り組み

月の会報は年度内に実施済みで、今後の発信を多くしていきたい。
昨年4月に非常災害マニュアルは配布したが、年2回避難訓練に合わせて配布していくことを検討する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

自分たちではできていると思っていることが、不明やわからないとなっているところがあったので、気づけるタイミングになってありがたい。

できる限り親御さんともコミュニケーションを取って、早い段階でご意見をいただけて改善に向けた対策をしていきたいと思った。

事業所名 放課後等デイサービス ジュン とつか
担当者 西上 香織